

安全確保・避難体制なし

川内再稼働中止を

九州電力が週明けにも川内原発の再稼働に踏み切ろうとしているなか、日本共産党の笠井亮議員は7日の衆院予算委員会で質問し、住民の安全確保も避難体制もない実態を示して、「再稼働は断念すべきだ」と迫りました。

↓関連⑥面



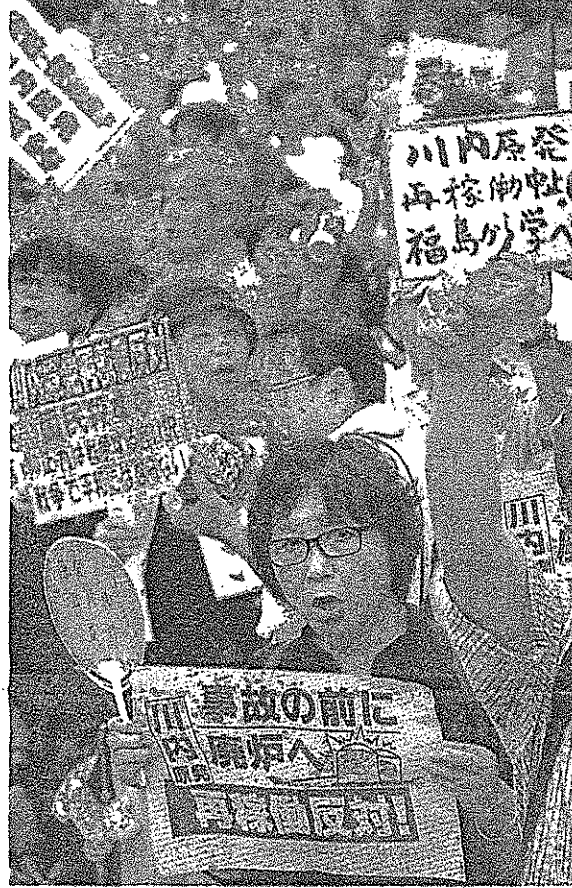
質問する笠井亮議員
7日、衆院予算委

笠井議員が迫る 衆院予算委

笠井氏は、マスコミ各社との世論調査でも原発再稼働に「反対」が6割前後で過半数を占め、地元・鹿兒島でも「反対」が昨年より増えて約6割にのぼっていることを指摘。周辺住民の多くが再稼働に不安を抱え、住民説明会の開催を求めているにもかかわらず、九電は応じていないことを、「説明会をやっても納得が得られない。説明不能だからだと批判しました。」

宮沢洋一経産相は「どう

いう形で住民の理解を得るかは個々の事業者にまかされている」と無責任に答弁。安倍晋三首相は「原子力規制委員会により新規制基準に適合することが確認された」と再稼働を正当化し、国民世論や住民の不安に真正面から背く姿勢をみ



川内原発の再稼働許すと抗議のコールをする人々＝7日、首相官邸前

国民の願いは原発ゼロ

の知見にも耳を傾けないのか」とたがしました。

首相は「川内原発の運用期間中は（破局的噴火の）可能性は十分小さいとの報告を（原子力規制委員会から）受けている」と繰り返すだけ。笠井氏が、高齢者や身体障害者など自力での避難が困難な要援護者の避難計画づくりができない点をたがしても、首相は「これまでの経験を生かしながら、住民の避難、安全を確保していきたい」と聞き直話の復活は許されないと断りました。

8/8 赤旗

官邸前で反原連

11日にも九州電力川内原発の再稼働がねらわれるなか、首都圏反原発連合（反原連）は7日夜、毎週金曜日の首相官邸前抗議をおこないました。4800人

（主催者発表）が参加し、「再稼働反対」「原発やめろ」とコール。国民の声を無視して再稼働をすすめる安倍晋三政権に対し、怒りの声を突きつけました。

「安倍（首相）ふざけるな」。抗議行動は、この都杉並区から抗議行動に参加し続けている熊田帆さん（34）は「すべての原発がなくなるまで諦める」とはありませぬ。明日から川内原発の現地へも行って声をあげます」といいます。

美術調理の仕事をしている同区立区の女性（27）は、初めて参加しました。インターネットで知って参加しました。原発反対、安倍政権にも反対です」

同区江川区に住む桜井和代さん（66）、同区の宮澤隆寛さん（69）は「原発ゼロを願う声を無視する安倍政権は許さない。一人でも多く抗議の声を届けたい」と話しました。

日本共産党の笠井亮、藤野保史の両衆院議員が参加し、スピーチしました。